

# 防 雨 案 内 板

この度は、当社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。  
本説明書を組み立ての前に必ずお読みの上、正しくお取り扱い下さいますようお願いいたします。  
また、本書を大切に保管して下さい。

## 組み立て時のご注意！



**注意**

- 組み立てる際は、指先などを傷付けないよう、手袋等を着用して下さい。
  - 開封する際は、カッターナイフなどで本体を傷付けないよう十分ご注意下さい。
  - 工具類の取り扱いには、十分ご注意下さい。
  - 組み立ての際はお子さまに注意し、なるべく広い場所で行って下さい。
  - 組立説明書に従って組み立てて下さい。組み立て手順を間違えると、組み立たない場合があります。
  - 組み立て手順に従い、ネジ等で確実に止めて下さい。不十分ですと、製品が破損したりケガをする恐れがあります。
- ※ 部材や床などにキズが付かないよう、ダンボールや毛布等を敷いて組み立てて下さい。

## 使用時のご注意！

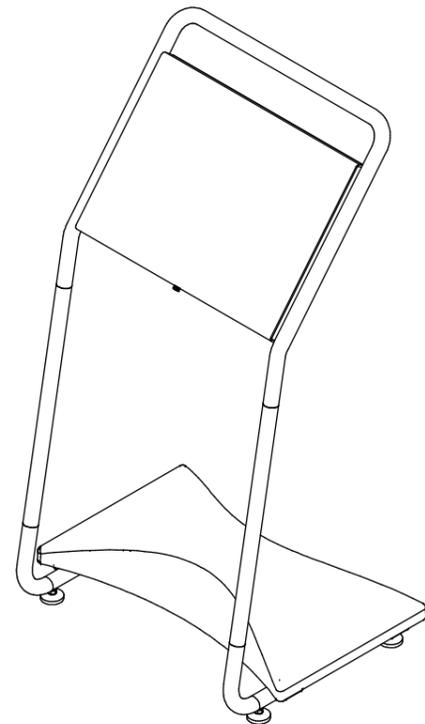


**注意**

- 暴風雨の際は、屋外で使用しないで下さい。
  - 必ず注水されたタンクを、本体にセットしてご使用下さい。
  - 本体を移動させる際は、本体よりタンクを取り外してから行って下さい。タンクをセットしたまま本体を持ち上げると、フレームが変形する恐れがあります。
  - アクリルカバーにひび割れが発生した場合は、使用しないで下さい。
  - 注水したタンクは非常に重くなっておりますので、落下等にご注意下さい。
  - 水の腐り防止のために、月に一度 水の交換をして下さい。
  - 本製品に腰掛けたり、もたれたりしないで下さい。転倒したり、壊れてケガをする恐れがあります。
  - 高温のものを直接当てたりしないで下さい。塗装面が変色したり、剥がれることがあります。
  - 直射日光や冷暖房器具の風を直接当てないで下さい。歪んだり変色したりすることがあります。
  - 分解や改造をしないで下さい。破損したりケガをする恐れがあります。
  - 異常を見つけたらそのまま使用せず、製造元へご連絡下さい。
- ※ 改善のため、予告無く仕様を変更することがあります。

## アクリルボードのお手入れ方法

ホコリを落とす際は、柔らかい布で乾拭きするか、きつく絞った布等で拭いて下さい。  
汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を使用して拭き取り、その後固く絞った布等で洗剤を完全に拭き取って下さい。  
※シンナー・アルコール類は使用しないで下さい。



**注意** 必ず注水されたタンクを、本体にセットしてご使用下さい。



**注意** 本体を移動させる際は、本体よりタンクを取り外してから行って下さい。  
タンクをセットされたまま本体を持ち上げますと、フレームが変形する恐れがあります。

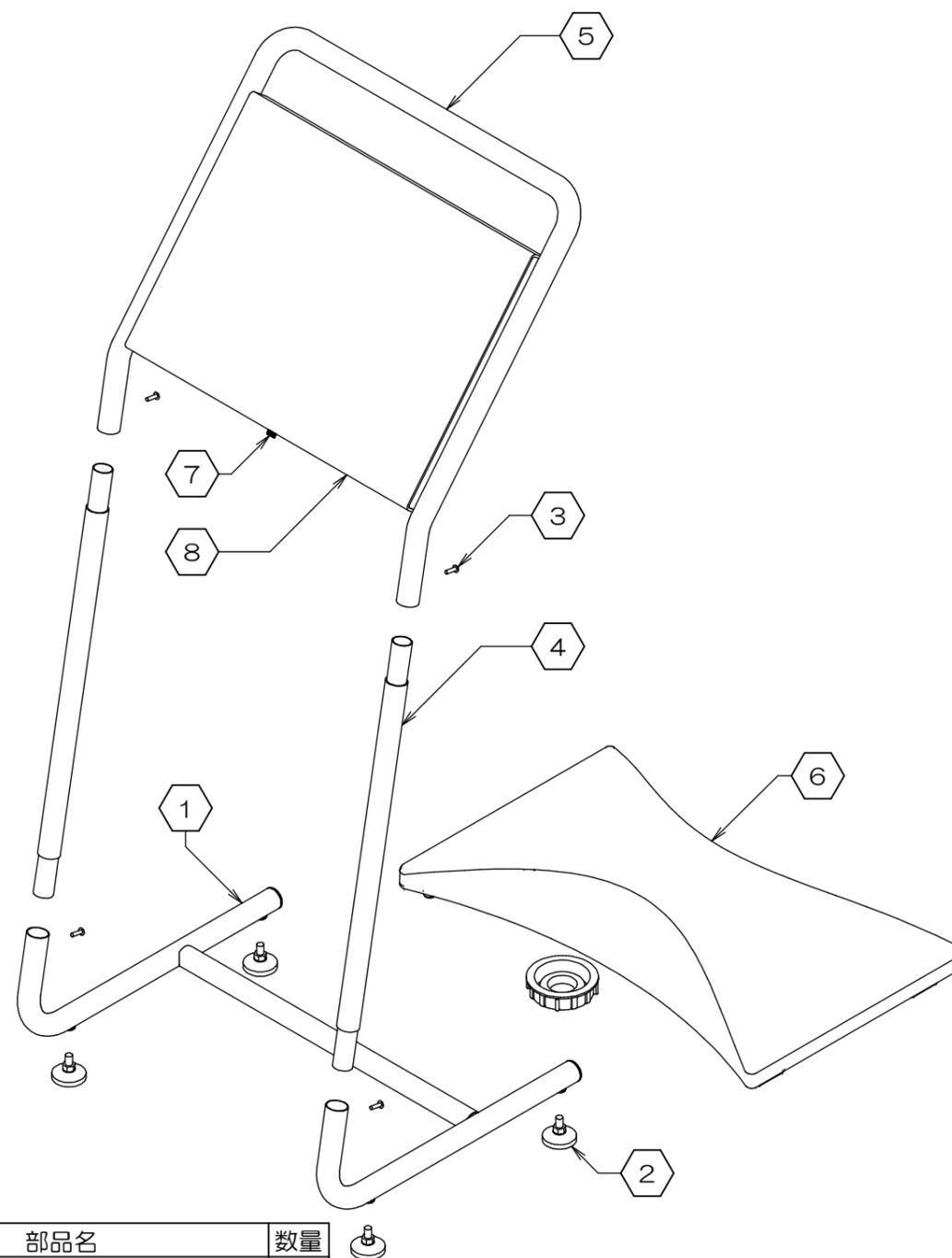
製品仕様 外形寸法：幅558mm×奥行413mm×高1024mm  
重 量：4.5kg(タンクが空の状態)  
主要材料：アルミ、アクリル  
表面処理：パウダー塗装



Made in Taiwan  
D0715-R2

組み立てる前に、各部品を確認して下さい。

※組み立ての際は、プラスドライバーをご用意下さい。



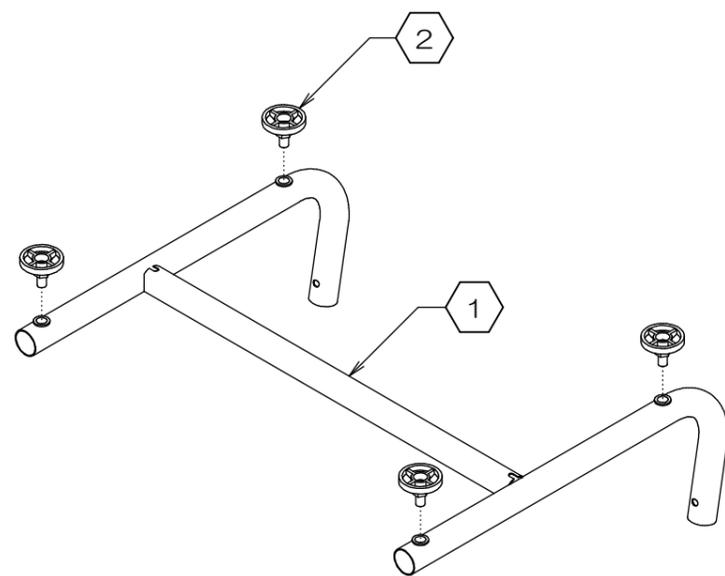
項目	部品名	数量
1	ベース	1
2	アジャスター	4
3	ネジ(M6×15) (4個はトップフレームに取り付け済)	8
4	ジョイントフレーム	2
5	トップフレーム	1
6	タンク	1
7	コリヤネジ (トップフレームに取り付け済)	1
8	アクリルカバー (トップフレームに取り付け済)	1

使用部材の形状		
②	③	⑦
	(4個は取り付け済)	(取り付け済)

お問い合わせ先  
製造元：株式会社 林製作所 072-960-0500  
〒578-0925 東大阪市稲葉1-4-50  
ホームページURL：http://www.hayashi-yumeita.com/

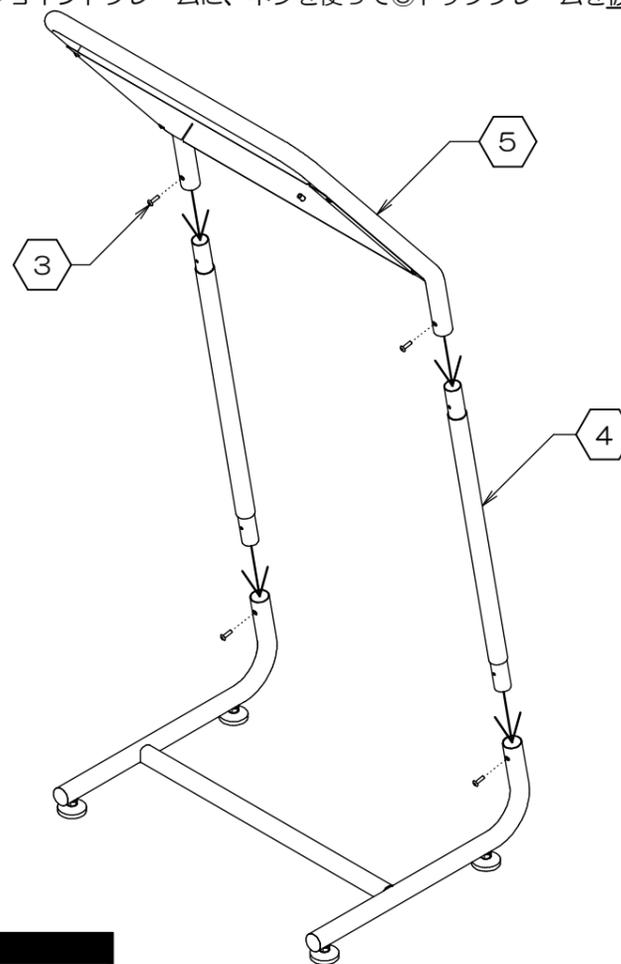
## 1. ベースの準備

- 下図を参考に、①ベースに②アジャスター4個を取り付けます。



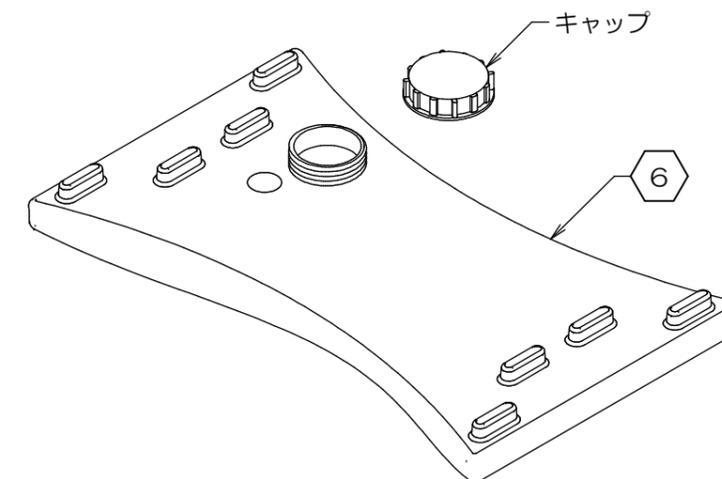
## 2. 本体の仮組み

- 前項で準備したベースに、③ネジを使って、④ジョイントフレーム2本を仮留めします。
- 次に、仮留めしたジョイントフレームに、ネジを使って⑤トップフレームを仮留めします。



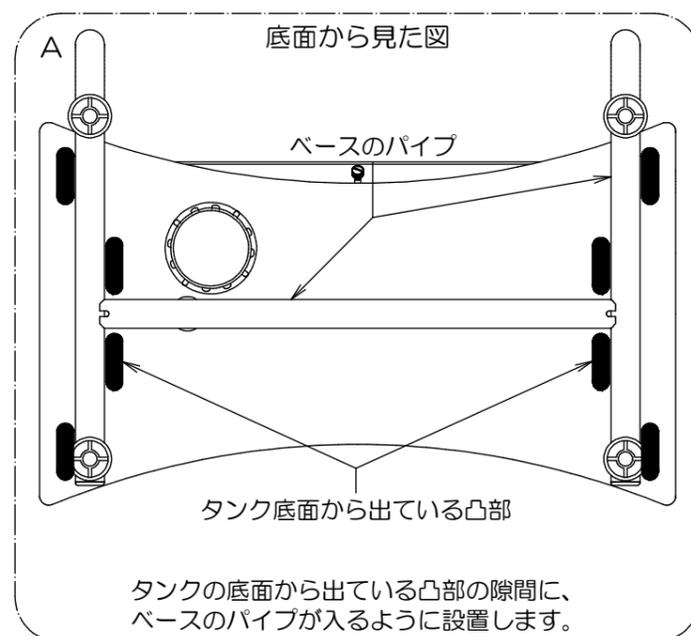
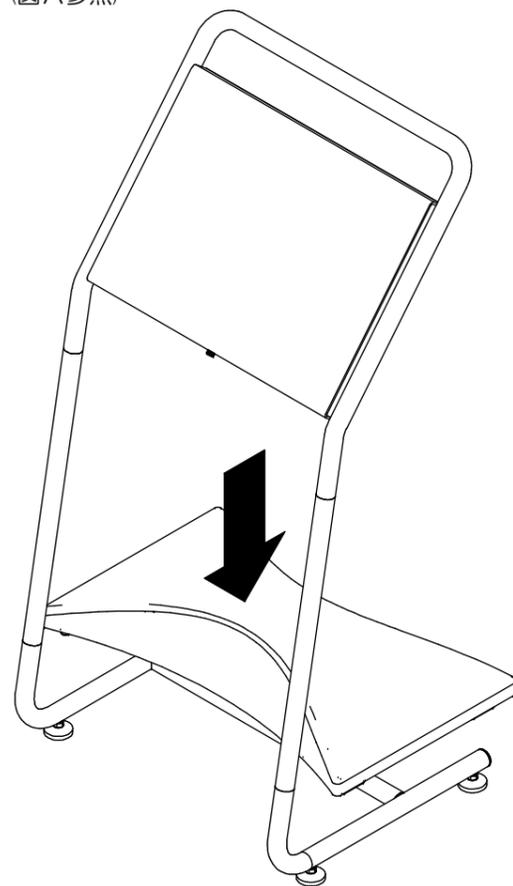
## 3. タンクの準備

- 注) タンクの上面が円形状をしているため、注水の際は不安定になりますので、必ず2人以上で作業を行って下さい。
- ⑥タンクの裏のキャップを外し、水を入れ、キャップをしっかりと閉めます。
- ※ 満水で約8kgの重量になります。
- 注) 注水したタンクは非常に重くなっておりまして、落下等にご注意下さい。また、水の腐り防止のために、月に一度 水の交換をして下さい。



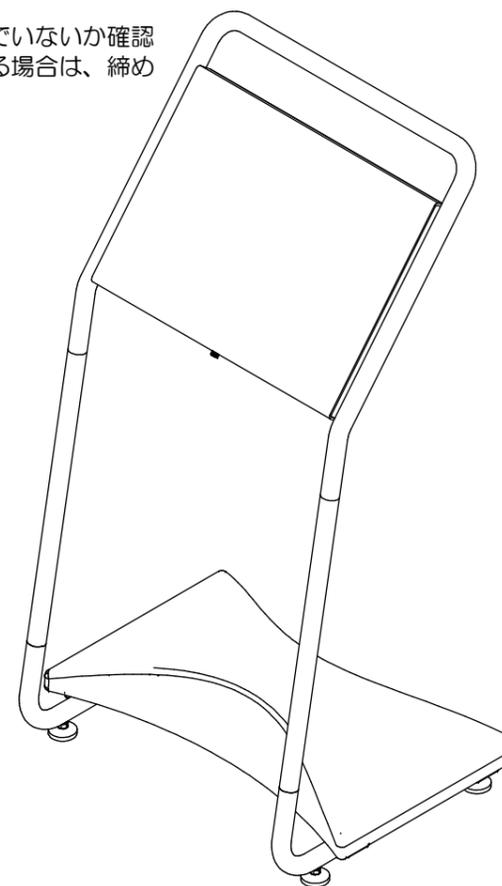
## 4. タンクの設置

- 本体に、タンクを設置します。
- タンクの底面にある凸部と凸部の間に、ベースのパイプが入るように設置します。(図A参照)



## 5. 完成です

- 仮留めしていたすべてのネジを、バランスを整えながらしっかりと増し締めして下さい。
- 最後に、ネジ等が緩んでいないか確認して下さい。緩んでいる場合は、締め直して下さい。



## 6. パンフレット等の設置方法

- A まず最初に⑦ユリヤネジを緩めます。
  - B ⑧アクリルカバーの下部を持ち上げ、そのまま上方向へ押し出しながら外します。
  - C パンフレット等を設置します。
- ※ ボード部は傾斜になっていますので、パンフレット等は跡が残らない両面テープ等で仮固定することをお勧めします。
- D アクリルカバーを外した逆の手順(B→A)で、アクリルカバーを固定します。
- 注) ユリヤネジを強く締めすぎると、アクリルカバーが割れる恐れがありますのでご注意下さい。

